

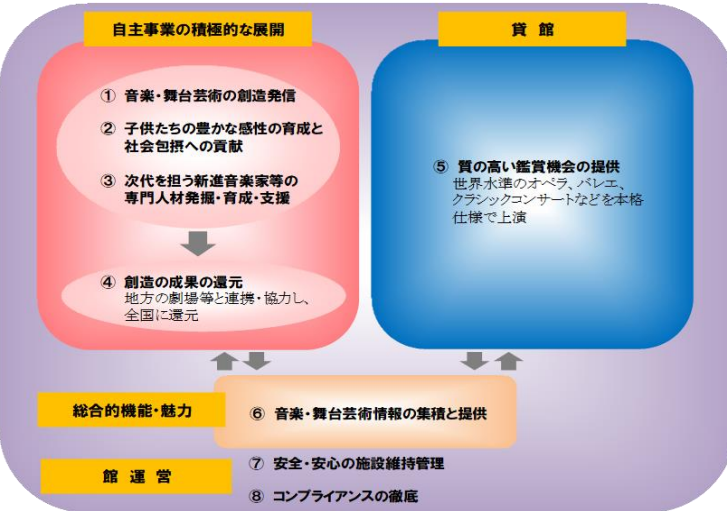
【東京文化会館】 指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

1. 管理運営の基本方針

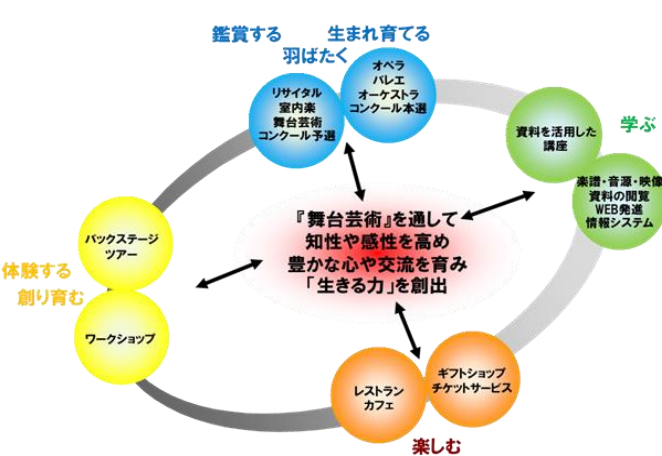
■基本方針

- ①「音楽・舞台芸術の殿堂」たる良質な公演の鑑賞機会を提供
- ②全国の文化施設をけん引する先駆的な自主事業を展開
- ③建物の魅力を生かしつつ、あらゆる人々が利用しやすい施設管理、機能を更新

《基本方針》



■館の機能の総合的な発揮



施設の持つ様々な機能を活用し、その魅力を最大限に発揮する取組を行う

2. 事業に関する業務

■芸術文化の振興に関する事業

劇場が「参加交流」できる「広場」となり、「社会包摂」のための「居場所」となるよう、プログラムの充実を促進

- 鑑賞～創造発信: 芸術文化の振興、継続的な共同制作
- ・新たな舞台芸術を創造し、幅広い観客を創出
- ・様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、多様な文化を共有

- 教育普及・社会包摂: 「Convivial Project」を立上げ、子供から高齢者、障害者等あらゆる人々の鑑賞、参加、交流機会の創出

- 人材育成: 若手の活躍機会の創出
- ・優れた人材の活躍する機会を提供

- ネットワークの活用: 実演家団体等との連携を強化



東京音楽コンクール本選

■施設の利用

- 実施方針と貸館の運営戦略
- ・「音楽・舞台芸術の殿堂」として良質公演の鑑賞機会提供

- 舞台運営業務: 「NOと言わない舞台管理」
- ・舞台芸術の創造的なサポートと、安全性の確保の両立

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

- ・現行の開館時間を基準とし、公演状況に応じ柔軟に対応
- ・年末年始の公演に合わせた開館
- ・夏期に2週間程度、冬季に1週間程度の工事休館

■館内サービス

- ・バリアフリー: 動線の確保、ハード面の限界をソフト面(心配りや工夫)でカバー
- ・外国人へのサービス向上: 外国語案内、決済手段の多様化、海外からのチケット購入のオンライン化
- ・迅速な救急対応
- ・ショップ・レストラン等の運営
- ・相手に寄り添う心をこめたおもてなしの実践
- ・コミュニケーションの充実、お客様の声をフィードバック
- ・お客様からのご指摘に真摯に対応

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

- 施設等の管理業務: これまでの経験や実績を基に、安全・安心かつ清潔を基本とした適切な維持管理

- 危機管理: 災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る
- ・お客様の安全確保: 危機管理マニュアルに基づく対応、感染症の拡大防止についても適切に実施
- ・大規模災害発生時: 都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たす

■地域等との連携の取組

- 上野「文化の杜」の連携イベント、情報発信の取組に積極的に参画
- ・教育普及活動: あいうえの
- ・気軽な音楽鑑賞機会の提供: まちなかコンサート
- ・地域商店街等と連携: 夏休み子供音楽会等
- ・国立西洋美術館と連携: 建築の魅力発信

シタマチハロウィン



■調査研究の取組

- ・社会包摂に関する調査研究(高齢者向けワークショップ等)
- ・ネットワークの活用による開発支援
- ・音楽資料室を活用した取組

■館の事業を支える仕組み

- 広報
- ・若い世代への情報発信を強化し若年層の集客を向上
- ・事業毎にターゲットやメディアを分けた情報発信
- ・財団他施設等と連携しスケールメリットを活かした広報

○来館を促進する取組

- ・リピーターの確保: 友の会とメルマガ会員の統合(仮称)東京文化会館メンバーズ
- ・上野「文化の杜」への来街層への働きかけ
- ・若者へのアピール: パートナースhip大学との連携、若者・ファミリー層の関心領域からのアプローチ
- ・建築の魅力をアピール(世界遺産 西洋美術館との連携)

- 外部意見等の取り入れ: PDCAの各段階において外部専門家や公演来場者の意見を取り入れ反映

- ニーズの把握: 顧客満足度調査・非利用者調査の実施

○外部資金の導入

- ・(仮称)東京文化会館オフィシャル・パートナー制度の運用
- ・協賛、補助金、助成金、撮影協力・広告による収入の獲得
- ・協賛獲得の恒常的な組織の設置

4. 組織及び人材

- ・舞台管理業務の体制を強化
- ・営業機能を拡充
- ・各専門知識を持った人材を適材適所に配置、個々の専門性を十分に発揮できる環境を整備
- ・各種研修により専門能力、経営上のバランス感覚、問題解決能力の向上を支援

■『『未来の東京』戦略ビジョン』

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略 アートショーケースTOKYOプロジェクト

アートがまちの至る所に溢れる都市の実現

- ・東京2020大会の中心的な文化プログラム「オペラ夏の祭典」のレガシーをアートフェスティバル(仮称)の核とし、都立文化施設が中心となって都内の様々な地域を繋げ、海外から訪れる観光客にも魅力ある、多様な芸術が溢れる都市の実現に向けた事業を展開

誰もが、いつでも、どこでも、芸術文化を楽しめる環境を整備

- ・5Gを活用したタブレット等の端末向けの配信等、道を行く様々な人々、劇場に足を運べない人々等、誰にでも文化芸術を届ける取り組みを実施

才能のあるアーティストの発掘・育成、文化の担い手の裾野を広げる

- ・日本を代表するコンクールの一つである「東京音楽コンクール」を毎年開催し、優秀な音楽家を輩出
- ・培った海外とのネットワークを活用し、更なる国際的な活躍の機会の創出に取り組み、東京発のアーティストの国際的評価を高めることに貢献

東京の社会課題の解決に貢献

- ・「人材育成・教育普及と社会包摂の拠点」として、劇場・音楽堂のリーディングケースとなるような取り組みを充実させ、貢献

■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

海外	舞台芸術の共同制作、新進音楽家の国際交流、先駆的な教育プログラムの実施	地域	上野地区の多彩なイベント等への参画、近隣大学・文化施設と連携した教育プログラム
国内	共同制作・企画協力、教育プログラムを地方へ還元	財団内	芸術劇場: 共通テーマの公演、ノウハウの共有 都美術館: 「あいうえの」 他館: コンクール入賞者を起用した「まちなかコンサート」
都内	区市町村・教育機関等との連携によりニーズに応じたプログラムを創造し提供		